

令和3年度採用

上級一般行政



「大学の教育課程の中で学んだことを生かし、こどもたちが笑顔で過ごせる

まちづくりに尽力したいと思い、志望しました。」

---

・現在の自分の主な担当業務

こども家庭課保育系の業務は「入所担当」「給付担当」「施設整備担当」と大きく3つあり、私は現在「給付担当」として従事しています。「入所担当」は、主に保育園の利用案内や入園の斡旋などを行うため、保育園を利用したい方との関わりがメインとなりますが、「給付担当」は保育園が運営していくために必要な経費を支弁する業務が主となるため、施設長との関わりがメインとなります。

・仕事をする上で心がけていることは？

相手の立場になって考え、まずは傾聴する姿勢を持つことを心がけています。採用当時、窓口や電話対応が思うようにできず、先輩にフォローしてもらう日々の中で、来訪者の相談に対し、さまざまな質問を通して、より具体的に相手の状況や目的、知りたいことを聞き取ってから、説明に移る先輩の様子を見て、私も実践したところ、相談にいらっしゃった方から感謝される機会が増えたと感じることができました。相手の状況を決めつけて一方的に説明するのではなく、何を知りたいのか、何に困っているのかをしっかりと聞き取れることをこれからも大切にしていきたいです。

・今までの業務で印象に残っていることは？

お手紙を届けに市内の各保育園を訪問した際に、保育園で元気に遊んでいるこどもたちを見て、自分の日々の業務が微力ながらもこどもたちの笑顔につながっているのではないかと感じ、印象に残っています。

・これまでの業務で大変だったこと、達成感や、やりがいを感じる時は？

保育系の「入所担当」として採用されてから約1年半後に「給付担当」となり、ガラッと業務内容が変わったと感じるなかで、周りの人に助けをもらいながら、目の前のタスクをこなしていく日々が『これまでで大変だった業務』として更新されていくように感じています。

『大変』という日々のなかで、周りの人からの『支え』と全く知らなかったことを説明できるようになる『やりがい』を感じることができています。